



## 平成17年度 日本介護福祉士会 千葉県支部

### 通常総会開催

平成17年4月23日(土)、日本介護福祉士会千葉県支部の通常総会が開催されました。  
18年度には介護保険制度が見直されるという準備の年。そんな皆様の期待にもこたえ、今年度の総会には講演を二本立てにし、介護保険制度の最新情報についても触れられる総会にさせていただきました。

午前中から会員の皆様にお集まりいただいた総会では、多くの来賓の方々にご列席いただき、それぞれの専門性高い各団体の皆様方から、心温まるお言葉と当会に対する期待のお言葉を頂く事が出来ました。

皆様方からのお言葉を胸に、介護福祉士会としてまたそれぞれの介護福祉士としてますます精進していきたいと思えます。

今年度は役員改正の年でありましたが審議において役員構成の承認も得られました。各ブロック活動を始め専門部会など今年度も積極的に展開をしていけるよう努めてまいります。

# 総会講演

## 「介護保険制度の最新情報」

介護保険制度研究会 第10回総会  
 介護保険制度 主司 石井中紀子



平成17年3月に出された厚生労働省老健局からの資料を基に、介護保険制度改革についてお話いただきました。

予防重視型システムへの転換、負担のあり方・制度運営の見直し、被保険者・受給者の範囲の検討が、今回の介護保険制度改革の主な内容となっています。日々情報が変わっている状況下のため、各自ホームページなどでも情報収集してみてください。

## 第二部

### 「人とヒトとのおもしろ心理を知る」

～かみ合わない男と女 モメる人間関係～

家族カウンセラー・エッセイスト  
 国立山梨大学非常勤講師

宮本まき子氏

宮本先生のお話はこの限られたスペースではお伝えする事は出来ませんが、ほんの少しだけ皆さんに・・・

講演については、先生の実体験、また現職での学生たちと関わりなどの中から対人間関係についてのヒントをお話いただきました。交流分析を使って人との交流についてをご説明いただきましたが、交流分析では「人生を生きる事は様々な時間を使う事」である、として時間の構造化によるストローク交換の密度のピラミッド図を分かりやすく説明を頂きました。一番少ない時間というのは、自閉と言う自分の世界に閉じこもる・休むという時間。そして一番多い時間を過ごすのは親交であり、その次に多いのは「ゲーム」です。ゲームというのは、本音と建前、競争、素直になれない、分かっているけど止められないといった、大変で多少不快だけれども結構退屈な人生の潤滑油になっているというもの。このゲームと親交とをあわせると、一日約8～10時間は費やしており、そのうちの2～3時間はゲームしながら過ごしている事になります。

先生曰く「1日2～3時間は皆、悪魔になるのよ」と。いわゆるこの時間のピラミッド図をみると、人は愛のみで生きる存在ではないということが分かり、いかに対人関係の中でのストレスが多いかというのはこのゲームに費やす時間が長い事からも、理解できる事であると言う。そして、親交という信頼しあい、相手に配慮する自由や愛の楽しさの喜びを感じる状態というのは、快になる時間であり、1日のうち一回はこの時間あると人は安定するのだと。

このような交流分析の基本からお話され、テレビ出演の話、野口英世はアダルトチルドレンだった、など多方面から人間関係の興味深いお話をいただきました。是非また先生のお話を伺いたいですね。

## 介護福祉士 国家試験受験対策

### 第17回 介護福祉士国家試験 合格者の声



- ・筆記試験では模試を重ねるうちに受験対策、重要ポイントがつかめて、また苦手な分野が明確になり、勉強の仕方が分かるようになりました。実技は心配でしたが、模試と殆んど同じ流れの介助でしたから落ち着いて出来ました。お話等支援いただき本当にありがとうございました。
- ・実技試験を受けた日は、何も出来ない自分はかなりショックでしたが、この経験が活かされて合格することが出来ました。
- ・模擬試験の回を重ねるごとに実力と自信が付き合格することが出来ました。
- ・筆記も実技も模擬試験を受けることによって、何としても受かりたいと強い気持ちを持つことが出来ました。参加してよかったです。
- ・3回目でやっと合格することが出来ました。実技は模試をやっていて良かったと思っています。
- ・洋服を選んで杖歩行でデイサービスに行くという設定は、ズバリ当たっていたので驚きましたが、床から立たせて段差越えにはモデルが患足を動かさしてくれなかったのが焦りました。いろいろなバージョンを練習しましたが床からだけは、まさか出ないと思ってやらなかったのが悔やまれます。でも受かったからよかった！苦しかったけど充実していました。
- ・模擬試験が本番で緊張する私にとって、とても助けになりました。
- ・何とか合格できることになりました。交流会より勉強するきっかけが作れたと思います。
- ・念じたら花咲きました。ありがとうございました。

### 第18回介護福祉士国家試験

**筆記試験** 平成 18 年 1 月 29 日(日曜日)

**実技試験** 平成 18 年 3 月 5 日(日曜日)

第18回(平成17年度)の介護福祉士国家試験から、実技試験に代わる「介護技術講習」を修了すれば、「実技試験」の受験が免除される介護技術講習制度が新たに導入されました。筆記試験については、従来どおり全ての受験者が受験する必要がありますが、実技試験については、受験申込み時に、従来の「実技試験を受験するコース」と、新たに実施される「介護技術講習を受講し修了することにより、実技試験を免除されるコース」のいずれかを選択できるようになりました。介護技術講習を受講して修了した者にはその者の申請により、実際に介護福祉士国家試験の筆記試験を受験したか否かにかかわらず、講習修了後引き続いて行われる3回の実技試験について免除されます。平成 17 年度の介護技術講習会の受付期間は、平成 17 年 4 月 1 日(金)から平成 17 年 8 月 21 日(日)までの間で、実施施設が定める期日です。

財団法人社会福祉振興・試験センター(試験室)

ホームページ <http://www.sssc.or.jp/>

## この人紹介

竹村Y子

35歳・介護職歴5年

介護福祉士歴1年目・第17回国家試験受験

訪問介護事業所勤務 東葛ブロック



### 「おばあちゃんからの教え」

私が介護の仕事に目覚めたのは、実は学生時代だったように思います。そのころは海外歴史文学が好きなただの学生でした。だから大学も漠然と英米文学を専攻。転機が訪れたのは大学2年生のときでした。父の母、母の母、つまり二人の祖母を半年で失いました。父の実家は島根と遠く、介護というよりかは病院へのお見舞い程度でした。しかし母の実家は車で1時間と近く、病院での付き添いをする事になりました。

祖母の病名は「ガン」ということであちこち転移をしており、どこが最初にガンになったのか分からないという状態でした。しかし私は詳しくは聞いていなかったということと、学生の私にこんな面倒なことを押し付けて...という反発心の方が強くあり、ただ病院のベッドの横の椅子に座っていたらいいだけだと思っていました。抗がん剤の影響か、私が孫だということも、食事をしたのかさえも分からず、また1分とあけずにオムツの交換を要求してくる祖母。私はこの行為が私に対する嫌がらせ以外の何ものでもないと考えてしまったのです。周りの人に「この子をご飯も食べさせてくれない！オムツも取り替えてくれない！」などと訴えている祖母に対して、私は言っではいけない一言を言ってしまったのです。「私にいじわるして楽しい？そんなおばあちゃん大嫌い！！！」と病院を飛び出しました。あとには何ともいえない嫌な気持ちになりましたが、自分の中で正当化して家まで帰ったことを今でもはっきりと覚えています。

その3日後、祖母は旅立ちました。祖母と交わした最後の言葉が「おばあちゃんなんて、大嫌い！！！」だったのです。取り消せないその一言は祖母が私の遺してくれた教えだと思っています。『相手の立場（例えば病気のこと・精神状態など）を理解するよう努力をしよう』この教訓は今現在も私の中で生きていますし、今後も変わることなく私を導いてくれる教えだと思っています。結婚・出産などがあり思っていたよりも時間がかかっていますが、着実に自分の道が進めるのもあの経験があるからなのです。そしていつか祖母に会えたとき、「本当は大好きだったのよ。ごめんね...。そしてあなたの教えが私に未来をくれました。」と報告が出来るように今後も日々精進して行こうと思っています。

## ‘ 05 こだままつり よっちゃんばる こだま

3月21日(日)長生郡陸沢町にある特定非営利活動法人こだまにて『‘05 こだままつり』が行われ、ミニ取材に行って来ました。

共同生活舎・こだまは、高齢者、障害者、児童等さまざまな方が利用できるデイサービス、介護保険制度では支えきれない、あらゆる困りごとを会員同士で支えあう、たすけあいこだま等の活動をされています。



わくわくするようなポスター

古民家を再生して作られた「こだま」

行ってきました  
見てきました



小山ホームの皆さんによる和太鼓演奏  
以前、家族の方がお世話になった頃を思い出されて涙する方もいました



「喫茶こだまこ」  
美味しい手作りお菓子  
が人気  
手作り製本やフラワーアレンジなど  
体験コーナーも賑わっていました

当日、来場された  
南部ブロックの  
齊藤ひとみさんより



影絵劇団あんとんねによる「ごんぎつね」公演がはじまります。こだま代表 近藤い子氏(中央)



水琴窟鑑賞  
大人も子どもも聴き惚れていました

3月21日 天気さえも味方につけ、こだままつりが盛大に開催されました。

“よっちゃんばる”(地域の方言で「寄り集まる」「集まって、何かする」)を合言葉に、子供も大人もどんな障害をお持ちの方も、本当に誰もがありのままにその人らしく参加されていることに驚きました。これが私たちの目指す地域福祉像なのかと思ったくらいです。手作りのプログラムメニューも豊富で活気あふれる一日でした。

特に食べることの大好きな私は、喫茶コーナーがお気に入りでした。ウエイトレスは、ときわぎ工舎のみなさんです。子供たちの一生懸命動く姿と、それを見守るお母さんたちのなんともいえないまなざしに、表情に心を動かされました。

“こだま”は、開所よりやっと一年とのこと。驚くほどのお客さんの数に地域の方々の期待と信頼の深さを感じました。出入口のまた来年もお待ちしていますのポスターに、きっと来るねとつぶやきながら、心地よいあたたかな気持ちになれた一日でした。

## 第4回千葉県介護福祉士会・在宅部会共催研修会報告

3月27日(日)

## 介護現場に求められるもの

～利用者と共に喜ばれ、スタッフと共に輝きたいあなたへ～

16年度最後の研修会が、県社会福祉センターにて行われ56名の参加がありました。「利用者の声は聞こえますか 介護者は輝いていますか」をテーマに介護保険ショートステイ利用者の宮尾修氏(NPO 法人船橋障害者自立生活センター理事)支援費訪問介護利用者の小林健一氏(ほっとぴあ おゆみ野)支援費訪問介護利用者家族の内山和枝氏、ショートステイ相談員の東全隆氏(セイワ習志野)よりお話いただきました。サービスを利用する側として、利用者に耳を傾けて欲しい、意思表示のできない人の隠れたニーズを見つけるために、与えられたことだけをするのではなく考えることのできるヘルパーになって欲しい、人権についての勉強もこれからは必要、介護技術にばらつきがある等、また利用者は介助者以上に介助者の心と健康に気づきやすいので、ストレスを溜めないようになど、まだまだ紹介しきれませんがたくさんの提言をいただき日々の仕事を振り返ることができました。これから介護者として輝ける糸口が見つけれられた研修会となりました。

## 研修会に参加された方に、アンケートにご協力いただきました。一部ご紹介します。

あなたの思う、介護現場に求められるものは何ですか？

- ・忙しい業務の中でも「笑顔」「行動力」「根性」 20代
- ・プロとしての知識と技術、やさしさ、利用者と他のスタッフとの信頼関係。 30代
- ・介護職を続けるモチベーションを維持できるのも、賃金・労働環境の整備教育など、様々あると思うのですが、それらを作っていく担い手であるという自覚。 40代
- ・介護職も家族も利用者の心を知り、実現することの難しさを常に感じています。今日もその大切さを感じさせられました。“人権を守る”基本中の基本と再確認しました。 50代
- ・介護職のスキルを高めていける環境。 50代
- ・利用者を一番に考え、事業所の都合でケアしない。 50代
- ・もっと利用者の声を聞くこと。小さなことができない方が多いので、細かなことをできる多用な方が求められている。もっともっと広く勉強する必要があると思いました。 60代

介護職として「輝いているな」と思ったときはどんな時ですか？

- ・何らかの目標を立て、それを達成しようとしている時。 20代
- ・利用者に感謝の言葉をかけられたとき。 30代
- ・今はよどんでいるので、そんな時やそんな人を思い出せない。がんばろうと思う反面、責任者としても輝けない...と思うような今です。 40代
- ・最近「輝いているな」と思えることがなくなった。時間が無くいつも駆け足で仕事に追われ利用者さんの話をゆっくり聴くことが出来ず、いつも自己嫌悪に駆られています。 50代
- ・利用者の方が満足したのと、自分の行ったケアが認められたとき。 50代
- ・利用者からの笑顔と「ありがとう」と感謝されたときなど充実感を得たとき。 60代
- ・フリーボランティアとして無償でお手伝いをしているが、施設の利用者に喜んでいただき今度いつ来ると笑顔で問いかけられた時。 60代

## 介護支援専門員受験対策講座

### 第1回 介護支援分野

日 時 : 平成 17 年 8 月 7 日 (日曜日)

9 時 30 分 ~ 16 時

会 場 : 千葉県社会福祉センター 4 階 会議室

講 師 : 林 房吉氏 (旭中央病院組合立老人ホーム東総園)

### 第2回 保健・医療分野

日 時 : 平成 17 年 9 月 4 日 (日曜日)

10 時 ~ 16 時

会 場 : 千葉県社会福祉センター 5 階 大研修室

講 師 : 西 ケイ子氏 (千葉県介護支援専門員協議会)

\* 受講料 会員 3,000 円 会員外 5,000 円

\* 当日は、介護支援専門員基本テキストを持参ください

申し込み: 氏名、郵便番号、住所、電話番号、会員の有無を明記の上  
事務局まで FAX, または葉書でお申し込みください。

事務局 : 〒260 - 0026 千葉市中央区千葉港 4 - 3 社会福祉センター内  
千葉県介護福祉士会  
TEL 043 - 248 - 1451 FAX 043 - 248 - 1515

各ブロックにおいても

研修会を開催予定しています。

まずは事務局までお問合わせください。



日本福祉のまちづくり学会 第8回全国大会  
すべての人の安心・自由・幸福をめざして

2005年8月25日(木)、26日(金)

千葉県教育会館(千葉市中央区中央4-13-10)

参加・宿泊・交通の問い合わせ先: JTB 団体旅行千葉支店

担当: 中島信二・古山沙紀

〒260-0045 千葉市中央区弁天 1-15-3 大宗北口ビル

TEL:043-290-8370

千葉大会の問い合わせ先: 千葉県千葉リハビリテーションセンター

担当: 太田令子・長尾龍郎

〒266-0005 千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL/FAX :043-291-1831 / 043-291-1847 内線 183

E-mail: reiko.ota@chiba-reha.jp

日本福祉のまちづくり学会

<http://www.jice.or.jp/fukushi/> (学会 HP)

## 理事会報告

### 第11回理事会

平成17年3月6日(日)

参加者10名

平成17年度

### 第1回理事会

平成17年4月10日(日)

参加者10名

### 第2回理事会

平成17年4月23日(土)

参加者20名

### 第3回理事会

平成17年6月11日(土)

参加者11名

### 現在の会員数(6月18日現在)

東葛 217名

千葉 302名

君津 104名

東部 110名 準会員 84名

南部 62名 合計 795名

## 事務局だより

### 16年度・17年度の会費

入金済みの新会員の方で

まだ、登録番号を報告されて  
いない方がいます。

日本介護福祉士会の会員証  
の手続きができませんので  
お知らせください。

### お詫びと訂正

先日お知らせしました、17年度  
第1回千葉県介護福祉士会研修会  
が会場の都合により日程と参加費  
が変更になりました。大変ご迷惑  
をおかけしまして申し訳ありませ  
んでした。

### 編集後記

にじの発行が大幅に遅れましたこと  
併せてお詫び致します。少しでも多  
くの情報を早く提供できるように努  
めてまいります。広報委員会